

# データ設定プログラム(2S) Ver.1.1.0.X

## ■ 取扱説明書 ■

### 利用規約

本規約に同意いただいた場合のみダウンロード及び使用していただくことができます。

#### 1. 著作権

データ設定プログラム(2S)[以下本プログラムという]の著作権は株式会社ナカヨが所有する。  
本規約の定めによるもの以外、本プログラムのどの部分も、当社からの事前の書面による許可なく、電子的、機械的、複写機、記録などいかなる方法、いかなる形でも、転送、複製、検索システムに登録してはならない。

#### 2. 使用範囲

本プログラムの使用はシステムデータ設定及び電話帳データ設定に限る。

#### 3. 複製の制限

使用にあたっての登録会社内にて、当社の製品の設置やメンテナンスの目的で使用する範囲で、複製を作成してもよい。

#### 4. 制限事項

他者に本プログラムの複製を分配したり、あるいはネットワーク上で1つのコンピュータから他のコンピュータへ本プログラムを電送してはならない。本プログラムは企業秘密を含み、同秘密を保護するために、本プログラムを逆コンパイル、解析、逆アセンブル、その他人間が認知できるような形態に変更してはならない。さらに、本プログラムやその一部を、修正、改造、翻訳、賃貸、賃借、貸与、利益のための再販売、配布、ネットワーク接続し、あるいは本プログラムやその一部に基づく派生的作品を作成してはならない。

#### 5. 本プログラムの所有権

使用にあたっての登録会社はプログラムが記録あるいは固定された媒体を所有するが、オリジナルの媒体に記録された本プログラム、並びにその後作成される本プログラムのすべての複製に対する権利及び所有権は、当該オリジナル及び複製が存在する形態や媒体にかかわらず、当社が保持する。

#### 6. 機密保持

使用にあたっての登録会社は、本プログラムの機密性を保持し、当社の事前の書面による明示的同意なしに、本プログラムをいかなる第三者にも開示しないこと。さらに、登録していない人物の本プログラムに対するアクセスを阻止するために、あらゆる合理的な手段を講ずること。

#### 7. 個人情報の管理、保護

本プログラムを使用して確認出来る個人情報(お客様のデータ設定、電話帳データ等)は、使用を目的とする特約店様、販売店様がお客様に承諾を得た上で管理、利用すること。また、個人情報を管理する特約店様、販売店様については、個人情報の漏えい、改ざんなどの危険にさらされない様に取り扱い権限者の明確化などの組織的な対応、さらに悪意をもった人物の不正なアクセスを阻止するためにあらゆる合理的なセキュリティを確保すること。

##### 【個人情報管理、保護に対するお客様へのご説明内容】

- ①使用目的:本プログラムを使用することにより、工事/保守時間の短縮を図ることを目的とする。
- ②お客様の主装置へのアクセスについては、販売店が教育した特定の保守者が実施する。
- ③お客様データ、電話帳への登録情報は事前の書面による明示的同意なしに、いかなる第三者にも開示しない。

#### 8. 賠償責任の制限

収益上の損失、貯蓄の損失、あるいはデータの消失を含むいかなる偶発的、結果的、あるいは間接的損害についても、またはその他の何らかの当事者によるいかなる請求についても、当社はいかなる責任をも負うものではない。

#### 9. 輸出

本プログラムまたは関連文献を輸出(海外提供)される場合には、外国為替及び外国貿易法の規則並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規を確認の上、必要な手続きを取ること。

## — 目次 —

### ■第1部《概要編》

1. はじめに(必ずお読みください)	1-1
1-1 本プログラムの概要	1-1
1-2 パソコンのハードウェア条件	1-2
1-3 接続方法	1-2
1-4 新規インストール	1-4
1-5 バージョンアップ	1-4
1-6 アンインストール	1-5
1-7 現在使用している主装置の設定を変更するときの注意事項	1-6
1-8 Q&A集	1-7

### ■第2部《パソコンデータ設定編》

1. 本プログラムの操作の流れ	2-1
2. プログラムの起動～主装置データ／電話帳データの読み込み	2-2
3. ユーザー情報設定	2-5
4. データ設定	2-6
●Excel <sup>®</sup> を使用して電話帳データを作成、編集する	2-13
5. システムデータシートの印刷	2-17
6. 主装置データ／電話帳データの書き込み～プログラムの終了	2-21
7. 主装置交換時のデータ移行方法	2-24

※本説明書内の画面は一例です。プログラムの種類やバージョン、パソコン側の環境によって異なる場合があります。また、内容的に違いがない場合は、Windows<sup>®</sup> 10の画面で記載しています。

●Windows<sup>®</sup> 7はMicrosoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> 7 operating systemの略です。

●Windows<sup>®</sup> 8.1はMicrosoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> 8.1 operating systemの略です。

●Windows<sup>®</sup> 10はMicrosoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> 10 operating systemの略です。

●Microsoft, Windows, Excel, Internet Explorerは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

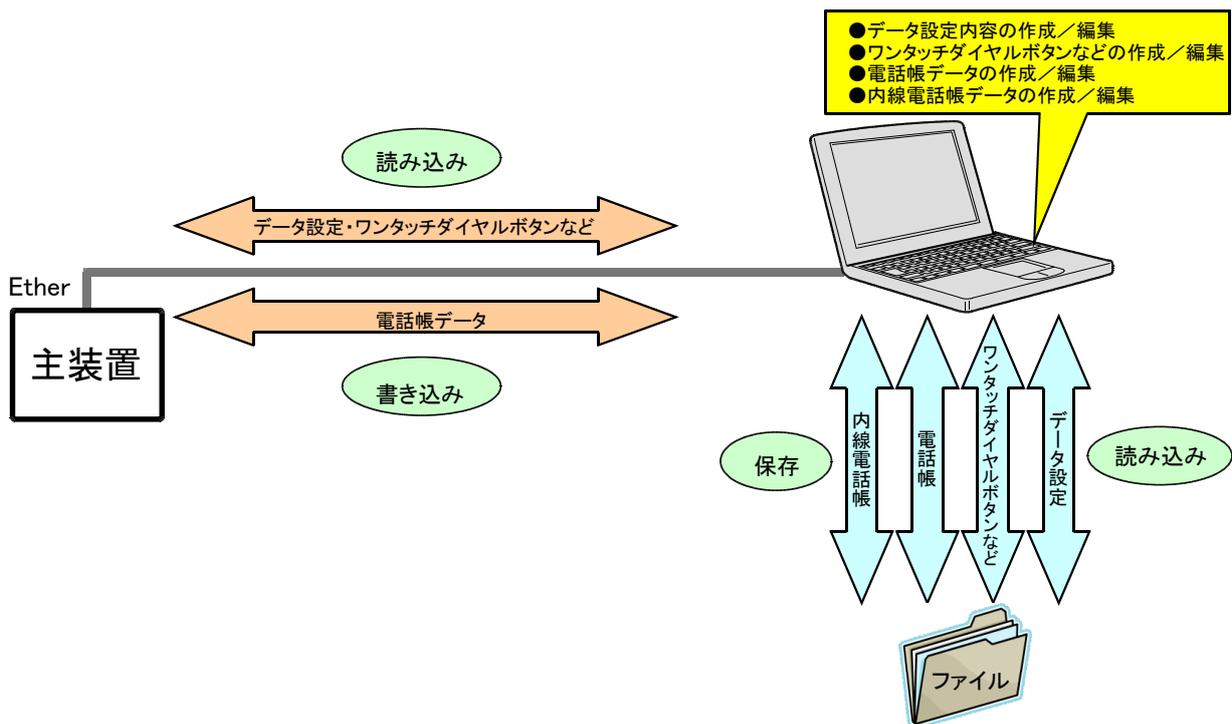
1. はじめに(必ずお読みください)

1-1 本プログラムの概要

本プログラムは以下のことができます。

<p>●主装置のデータをパソコンに読み込む データ設定(ワンタッチダイヤルボタンなどのデータを含む)と電話帳データは別々に読み込みます。 新規工事以外で設定を変更する場合は、必ず最初に実行してください。</p>
<p>●パソコン上で主装置のデータ設定内容を作成する * 作成内容をファイルに保存したり、ファイルからの読み込みもできます。 主装置の「工事・保守マニュアル」の「データ設定マニュアル編」を見ながら設定を行ってください。</p>
<p>●パソコン上でワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンを作成する * 作成内容をファイルに保存したり、ファイルからの読み込みもできます。</p>
<p>●パソコン上で電話帳・内線電話帳データを作成する * 作成内容をファイルに保存したり、ファイルからの読み込みもできます。</p>
<p>●パソコン上のデータを主装置に書き込む データ設定(ワンタッチダイヤルボタンなどのデータを含む)と電話帳データは別々に書き込みします。</p>

\*: 主装置に接続しないで、各種データの作成、ファイルへの保存、ファイルからの読み込みができます。  
(事前に設定ファイルを作成しておけます)

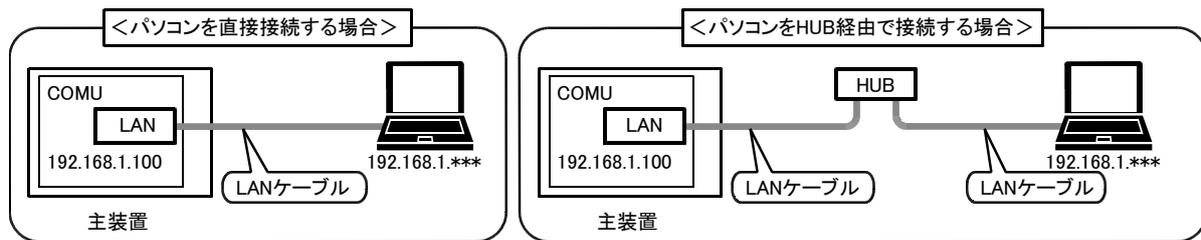


## 1-2 パソコンのハードウェア条件

- (1)パソコン: DOS/V(PC-AT互換機)
- (2)OS: Windows® 7 日本語版(32/64bit版対応)  
Windows® 8.1 日本語版(32/64bit版対応)  
Windows® 10 日本語版(32/64bit版対応)
- (3)CPU: クロック1.7GHz以上のx86、もしくは64bit(x64)アーキテクチャのプロセッサ
- (4)必要メモリ容量: 1GB以上(32bit版OS)  
2GB以上(64bit版OS)
- (5)ハードディスク容量: 100MB以上(セットアップ時)
- (6)画面サイズ: 1024×768ピクセル以上
- (7)ネットワーク: 100BASE-TX、ネットワークプロトコルとしてTCP/IPが動作するもの

## 1-3 接続方法

下図のように主装置にパソコンを接続します。



### ご注意

- 本プログラムは、Windowsのアカウントユーザーの種類を「管理者」に設定したパソコンでのみインストールおよび使用することができます。
- 主装置のIPアドレスの初期値は「192.168.1.100」になっています。主装置をLAN環境に接続する場合は、必要に応じてIPアドレス変更してください。変更後は主装置の電源をOFF/ONしてください。  
⇒詳しくは、主装置の「工事・保守マニュアル(2. データ設定マニュアル編)」のコマンド\*9400をご覧ください。
- ブラウザは「Internet Explorer® 11」をお使いください。
- パソコンのIPアドレスを主装置のIPアドレスと同じセグメントに変更してください。  
例: 主装置が「192.168.1.100」の場合は「192.168.1.\*\*\*」を設定します(第3オクテットまで同一にする)。
- 「Internet Explorer®」は下記の設定を行ってください。なお、「Internet Explorer」のバージョンによって設定項目等の表示内容、ボタン名、画面表示等が異なる場合があります(以降の説明も同様)。
  - ①[ツール(T)]メニューから[インターネット オプション(O)]をクリックする
  - ②『インターネット オプション 画面』の[全般]タブにある「閲覧の履歴」の  をクリックする
  - ③『Webサイトデータ設定 画面』の[インターネット一時ファイル 画面]タブの「Webサイトを表示するたびに確認する(E)」を選択し、 をクリックする
  - ④『インターネット オプション 画面』の[接続]タブにある  をクリックする
  - ⑤『ローカル エリア ネットワーク(LAN)の設定 画面』の「プロキシ サーバー」の下の「ローカル アドレスにはプロキシ サーバーを使用しない(B)」をチェックし、 をクリックする  
または、「LANにプロキシ サーバーを使用する」のチェックをはずして、 をクリックする(通常はプロキシサーバーを使用しているLANに接続しないパソコンの場合)
  - ⑥『インターネット オプション画面』の  をクリックする
  - ⑦[表示(V)]メニューから[拡大(Z)]を選択し、「100%(0)」に設定する

## ご注意

●パソコンの「ファイアウォール」は「有効」にしないでください。読み込みや書き込みが正常にできなくなります。

①[コントロール パネル]から[システムとセキュリティ]をクリックし、[Windows ファイアウォール]をクリックする(カテゴリ表示の場合)

[コントロール パネル]から[Windows ファイアウォール]をクリックする(大きいアイコンまたは小さいアイコン表示の場合)

[コントロールパネル]の表示方法(Windows® 8.1/Windows® 10)

1. [スタートボタン]を右クリックする
2. 一覧が表示されるので、[コントロールパネル]を選択する

②『Windows ファイアウォール 画面』の[詳細設定]をクリックする

③『セキュリティが強化された Windows ファイアウォール 画面』の[プロパティ]をクリックし、[パブリック プロファイル]タブをクリックする

(使用するネットワークの場所が「ホームネットワークまたは社内(プライベート)ネットワーク」の場合は[プライベート プロファイル]タブをクリックする)

④「保護されているネットワーク接続」の横にある **カスタマイズ(S)** をクリックし、主装置につないでいる接続のチェックを外し、**OK** をクリックする

●本プログラムを使用するときは、ほかのアプリケーションプログラムを終了してください。パソコンのシステムリソースが不足して詳細設定画面(Web画面)が開けなくなる場合があります。「メモリー不足のため、サーバが起動しませんでした。」というエラー画面が出たときは、パソコンを再起動してから本プログラムを起動してください。

## 1-4 新規インストール

はじめて本プログラムをインストールする手順は下記のとおりです。

- ①ダウンロードしたファイルを実行します。
- ②これ以降は、画面の指示に従ってください。

### ●標準インストール先

「C:¥Program Files¥2S\_DAT1」フォルダ  
(64bit版OSの場合は、「C:¥Program Files(x86)¥2S\_DAT1」フォルダ)

### ●プログラム名

「DDU2SXXXX.exe」  
※プログラム名の「XXXX」はバージョンを示します。  
※プログラムをインストールすると、デスクトップにショートカットが作成されます。

### ●プログラムのバージョン確認方法

エクスプローラなどで、上記インストール先のフォルダにあるプログラムファイル(DDUPA-2S.exe)を右クリックし、プロパティでバージョン情報を確認してください。  
※プログラム起動後の『メイン画面』でもバージョンが確認できます。

★パソコンへのインストールは、管理者の権限で行う必要があります。ほかのユーザーでログインしてインストールすると、プログラムが正常に動作しません。

## 1-5 バージョンアップ

本プログラムを最新版にバージョンアップする手順は下記のとおりです。

- ①ダウンロードしたファイルを実行します。
- ②しばらくすると『セットアップタイプ 画面』となります。

「バージョンアップ・インストール」を選択し、**次へ(N)>**をクリックしてください。

- ③これ以降は、画面の指示に従ってください。

※インストール先、プログラム名は古いバージョンと同じです。



### ご注意

- ★本プログラムのインストールを行う際に、ユーザーアカウント制御警告が表示される場合があります。表示された場合には、ユーザーアカウントを確認してから **はい(Y)** をクリックしてください。
- ★本プログラムをインストールする際は、セキュリティソフトを一時的に無効(または停止)にしてください。無効にする方法については、お使いのセキュリティソフトの説明書などをご覧ください。

## 1-6 アンインストール

本プログラムをパソコンから削除する手順は下記のとおりです。

- ① [コントロールパネル] から、[プログラムと機能] または [プログラムのアンインストール] を選択します。

[コントロールパネル] の表示方法 (Windows® 8.1 / Windows® 10)

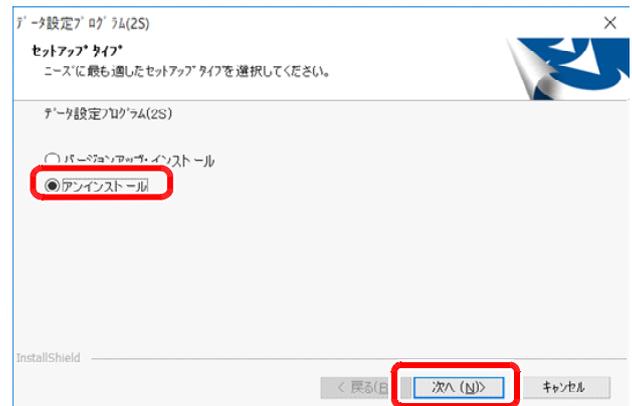
1. [スタートボタン] を右クリックする
2. 一覧が表示されるので、[コントロールパネル] を選択する

- ② 本プログラムを選択し、ダブルクリックします。



- ③ しばらくすると『セットアップタイプ 画面』となります。  
「アンインストール」を選択し、**次へ(N)>** をクリックしてください。

- ④ これ以降は、画面の指示に従ってください。



### ご注意

- ★本プログラムのアンインストールを行う際に、ユーザーアカウント制御警告が表示される場合があります。表示された場合には、ユーザーアカウントを確認してから **はい(Y)** をクリックしてください。
- ★本プログラムをアンインストールする際は、セキュリティソフトを一時的に無効(または停止)にしてください。無効にする方法については、お使いのセキュリティソフトの説明書などをご覧ください。

## 1-7 現在使用している主装置の設定を変更するときの注意事項

現在使用している主装置のデータ設定や電話帳データを変更するときは、下記に注意してください。

### ご注意

★本プログラムでデータ設定や電話帳データを主装置に書き込むと、主装置内のデータは書き込んだデータに置き換わります。

データ設定済みの主装置のデータを変更するときは、下記の手順で行うようにしてください。特に電話帳データに関しては、お客様が変更・追加を行っている可能性がありますので注意してください。

- ①主装置から変更対象のデータを読み込む  
主装置内のデータを取得します。
- ②本プログラムを終了しないで、取得したデータを編集する  
必要に応じてファイルの保存を行ってください。  
★ファイルの読み込みは行わないでください。
- ③主装置に変更対象のデータを書き込む  
主装置に変更したデータを戻します。

## 1-8 Q&A集

No.	質 問	回 答
1	読み込みまたは、書き込みを行うと、「コネクト失敗」のメッセージが表示される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● * 9403の設定が「ポートクローズ」になっていませんか？（「ポートオープン」にする必要があります）</li> <li>※ * 9403の設定は工事者設定となります。お客様が本プログラムをご使用の場合は、特約店、販売店にお問い合わせください。</li> <li>● パソコンのIPアドレスは、主装置のIPアドレスと同一のセグメント内にありますか？（同一セグメントにしてください）</li> <li>● パソコンセキュリティソフト（例：ウイルスバスターなど）が常駐していませんか？（セキュリティソフトを停止して実行してください）</li> <li>● パソコンの「ファイアウォール」が有効になっていませんか？（無効にしてください）</li> <li>● ほかのパソコンから同時にアクセスしていませんか？（アクセスするパソコンは1台にしてください）</li> </ul>
2	主装置からデータを読み込むと「受信データの読み込みに失敗しました」とエラーメッセージが出て読み込みできない。 また、設定を変更しようとする、「メモリ不足のため、サーバが起動できませんでした。」とエラーメッセージが表示され、設定画面も見ることができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パソコンのメモリが不足しています。パソコンのメモリを増設してください。または、ほかのアプリケーションを終了してください。</li> </ul>
3	主装置にデータを書き込めない。 書き込み中画面が表示された後、0%の状態「コネクト失敗」メッセージが出る。これを何回か繰り返すとOKになる場合がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パソコンのLANドライバが古くありませんか？（最新のドライバに更新して、再度実施してください）</li> </ul>
4	設定中に画面の“登録”ボタンを押しても、入力データが画面に反映されない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Internet Explorer®の「インターネットオプション」の「閲覧の履歴」→「設定」→「インターネット一時ファイル」の設定が「Webサイトを表示するたびに確認する」になっていませんか？（設定を変更してください）</li> </ul>
5	主装置にデータを書き込んだら、外線ボタンのランプが点灯しなくなった。 ただし発信、着信はできる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「データ設定ファイル」と「ワンタッチ・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもボタン設定ファイル」の内容がアンマッチの場合に本現象となる場合があります。パソコン側のクッキーなどの設定が正しくないアンマッチのファイルができる可能性があります。</li> <li>Internet Explorer®の「インターネットオプション」の「閲覧の履歴」→「設定」→「インターネット一時ファイル」の設定が「Webサイトを表示するたびに確認する」になっていませんか？（設定を変更してください）</li> </ul>
6	主装置に電話帳データを書き込んだら、電話機の内線番号が消えてしまった。 または、内線番号や内線名称が変更されてしまった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電話帳データを書き込む前に、「電話帳データの読込」を実施しましたか？</li> <li>電話帳データの書き込みを行う際には、必ず電話帳データを読み込んでから編集を行い、その後で書き込むようにしてください。</li> <li>また、内線電話帳の書き込みが不要な場合は、「内線電話帳を書き込む」のチェックボックスにチェックを入れないでください。</li> </ul>
7	CSV形式で保存したファイルをExcel®で開いたら、電話番号の頭に「0」が付いていなかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● CSV形式のファイルをExcel®に読み込んだ場合、電話番号欄の頭の「0」は削除されます。この状態で保存してしまうと「0」は削除されたままとなります。ファイルを上書き保存しないように注意してください。</li> <li>CSV形式のファイルの読み込み方法は、P2-15をご覧ください。</li> </ul>
8	夜間切替タイマを使用しているときに主装置にデータを書き込んだら、留守番のモードが切り替わってしまった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 夜間切替タイマが動作すると、夜間切替タイマで設定した留守番モードに関係するデータ設定（* 601、* 9104、* 9100、* 9109）が変更されます。本プログラムで書き込む上記のデータ設定が主装置側と異なる場合は、書き込んだデータ設定に従って留守番モードが切り替わります。</li> <li>書き込みが終わったら主装置の電源をOFF/ONすると、夜間切替タイマで動作する留守番モードを元の状態に戻すことができます。困難な場合は、お客様に留守番モードが変更される場合があることを説明したうえで書き込みしてください。</li> </ul>

## ■ 第2部 《パソコンデータ設定編》

### 1. 本プログラムの操作の流れ

本プログラムは、以下の流れで操作してください。(参照ページは、各操作を記載している章の先頭ページを示しています。)

#### [1] 事前に設定ファイルを作成する場合

- ①プログラムの起動 ⇒P2-2
- ②「ファイル作成」を選択 ⇒P2-2
- ③「ユーザー情報設定」を実行 ⇒P2-5
- ④PCでの設定、ファイル保存 ⇒P2-6
  - データ設定
  - ワンタッチ・内線ワンタッチ・ボックスボタン・  
なんでもワンタッチボタン設定ファイル
  - 電話帳ファイル
  - 内線電話帳ファイル

**【注】**内線番号が変更されている場合は、[4]の操作でファイルに保存した内線電話帳ファイルを読み込んでから、内線電話帳データを作成してください。

#### [2] 新規工事の場合(事前作成ファイルなし)

- ①主装置とPCを接続 ⇒P1-2
- ②プログラムの起動 ⇒P2-2
- ③「主装置設定」を選択 ⇒P2-2
- ④「ユーザー情報設定」を実行 ⇒P2-5
- ⑤PCでの設定、ファイル保存 ⇒P2-6
  - データ設定
  - ワンタッチ・内線ワンタッチ・ボックスボタン・  
なんでもワンタッチボタン設定ファイル
  - 電話帳ファイル
  - 内線電話帳ファイル
- ⑥「主装置データの書込」、または「電話帳データの書込」を実行 ⇒P2-21

**【注】**内線番号が変更されている場合は、[4]の操作でファイルに保存した内線電話帳ファイルを読み込んでから、内線電話帳データを作成してください。

#### [3] 新規工事の場合(事前作成ファイルあり)

- ①主装置とPCを接続 ⇒P1-2
- ②プログラムの起動 ⇒P2-2
- ③「主装置設定」を選択 ⇒P2-2
- ④ファイル読込 ⇒P2-6
  - データ設定
  - ワンタッチ・内線ワンタッチ・ボックスボタン・  
なんでもワンタッチボタン設定ファイル
  - 電話帳ファイル
  - 内線電話帳ファイル
- ⑤「主装置データの書込」、または「電話帳データの書込」を実行 ⇒P2-21

※読み込んだ内容を変更するときは、④の後で実施し、ファイルに保存してください。

#### [4] 主装置からパソコンにデータを読み込む

- ①主装置とPCを接続 ⇒P1-2
- ②プログラムの起動 ⇒P2-2
- ③「主装置設定」を選択 ⇒P2-2
- ④「主装置データの読込」、または「電話帳データの読込」を実行 ⇒P2-2
- ⑤ファイル保存 \*1 ⇒P2-6
  - データ設定
  - ワンタッチ・内線ワンタッチ・ボックスボタン・  
なんでもワンタッチボタン設定ファイル
  - 電話帳ファイル
  - 内線電話帳ファイル

#### [5] 主装置の設定を変更する場合

- ①主装置とPCを接続 ⇒P1-2
- ②プログラムの起動 ⇒P2-2
- ③「主装置設定」を選択 ⇒P2-2
- ④「主装置データの読込」または「電話帳データの読込」を実行 ⇒P2-2

**★必ず実行してください。**

- ⑤「ユーザー情報設定」を実行 ⇒P2-5
- ⑥PCでの変更 \*2、ファイル保存 ⇒P2-6
  - データ設定
  - ワンタッチ・内線ワンタッチ・ボックスボタン・  
なんでもワンタッチボタン設定ファイル
  - 電話帳ファイル
  - 内線電話帳ファイル
- ⑦「主装置データの書込」または「電話帳データの書込」を実行 ⇒P2-21

**★④で読み込んだデータと異なるデータを書き込まないよう、注意してください。**

\*1: 必要なものを保存してください。

\*2: 主装置から読み込んだデータを変更します。

## 2. プログラムの起動～主装置データ／電話帳データの読み込み

### ●事前確認 (主装置の「工事・保守マニュアル」をご覧ください。)

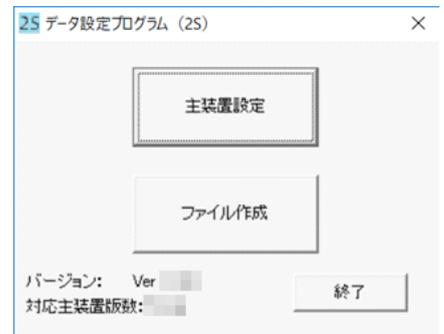
- (1) 主装置とパソコンは接続されているか？
- (2) 主装置側の「データ設定アプリ用ポート設定」はポートオープンになっているか？ (\* 9403)
- (3) 主装置のIPアドレス (\* 9400)を変更した場合、主装置の電源のOFF/ONを行ったか？

### 1 本プログラムを起動すると『メイン画面』が表示される

#### ●各ボタンの説明

**主装置設定** …主装置に接続して、データ設定やワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックスボタン・なんでもワンタッチボタンのデータ、電話帳データ、内線電話帳データの読み込みや変更、書き込みを行うときなどに使用する。

**ファイル作成** …主装置に接続せず、事前にデータ設定やワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックスボタン・なんでもワンタッチボタンのデータ、電話帳データ、内線電話帳データのファイルを作成、変更するときなどに使用する。



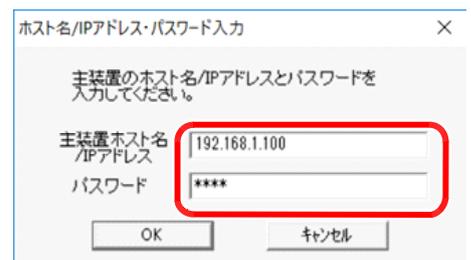
※以降の説明は、主装置データの読み込み ( **主装置設定** を選択) を行う場合を示します。 **ファイル作成** を選択した場合は、『工事者用メニュー画面』となります。また、手順4、5は不要です。

ただし、『工事者用メニュー画面』で **主装置データの読込**、**電話帳データの読込**、**主装置データの書込**、**電話帳データの書込** は選択できません。

### 2 『ホスト名/IPアドレス・パスワード入力画面』が表示されるので、接続されている主装置のIPアドレスとパスワードを入力して **OK** をクリックする

IPアドレスは、「192.168.1.100」のようにドットを付けて入力してください。  
パスワードは設定したパスワードを入力してください。

※IPアドレスの初期値は192.168.1.100、パスワードの初期値は0000です。  
※パスワードは半角数字を使用します。



※インターネット経由でアクセスする場合には、IPアドレスの代わりに主装置のホスト名を入力します。下記の設定も合わせて行ってください。

#### ●主装置のホスト名について

xxxxxxxxxxx.2scomu.hoshunet.jp

①

① 主装置のMACアドレス(12桁の16進数)です。下記の方法で確認することができます。

- ・「工事者」でログインした時のWeb設定の「TOPページ」
- ・メニュー機能(メニュー → **0** その他 → **4** システム管理 → **1** システム情報 → **0** **0** 主装置情報 )

●Web設定 \* W006「DDNSサーバ登録設定」を「あり」に設定してください。

●接続するルータの設定は以下のようにしてください。

- ・主装置に接続しているルータの設定……………ポート「9000」(TCP)を主装置のIPアドレスにマッピングしてください。
- ・本プログラムを実行しているパソコンに接続しているルータの設定……………ポート「9000」(TCP)を本プログラムを実行しているパソコンのIPアドレスにマッピングしてください。

※Web設定 \* W013「データ設定アプリケーション用パスワード設定」でパスワードを変更している場合(0000以外を設定している場合)には、設定したパスワードを入力してください。

### 3

#### 『工事者用メニュー画面』が表示される

##### ●各ボタンの説明

**ユーザー情報設定** … ユーザーの会社名や電話番号などの情報を登録します。(ファイルに登録情報を付加します。)

**システムデータシート印刷** … パソコン上にある各種設定データ、電話帳データ、内線電話帳データを印刷します。

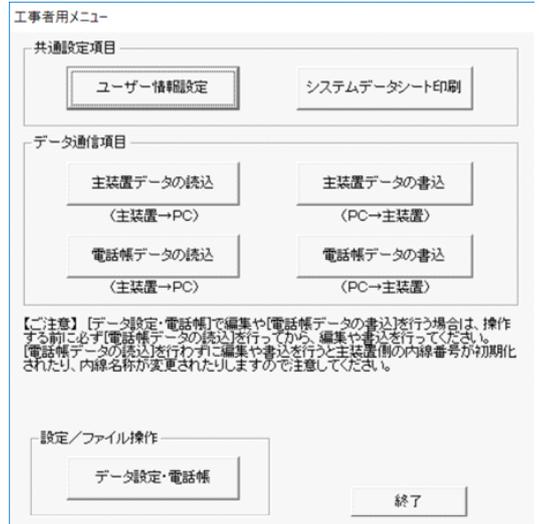
**主装置データの読込** … 主装置側のデータ設定、ワンタッチダイヤル・なんでもワンタッチボタンなどのデータをパソコンに読み込みます。

**電話帳データの読込** … 主装置側の電話帳および内線電話帳データをパソコンに読み込みます。

**主装置データの書込** … パソコン側のデータ設定、ワンタッチダイヤル・なんでもワンタッチボタンなどのデータを主装置に書き込みます。

**電話帳データの書込** … パソコン側の電話帳および内線電話帳データを主装置に書き込みます。

**データ設定・電話帳** … パソコン上で各種データ(ワンタッチダイヤル・なんでもワンタッチボタンなどのデータ、電話帳データ、内線電話帳データ)の変更、ファイルの保存、ファイル読み込みを行います。



### 4

#### 下記のいずれかのボタンをクリックする

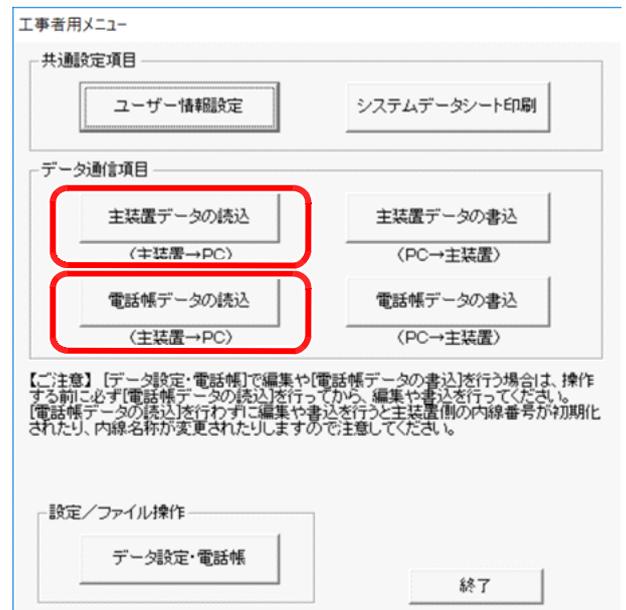
**主装置データの読込** … 主装置側のデータ設定内容をパソコンに読み込みます。

**電話帳データの読込** … 主装置側の電話帳および内線電話帳のデータをパソコンに読み込みます。

★データ設定内容にワンタッチダイヤルが設定されている場合は、下記の順番で読み込んでください。読み込みの順番が正しくないと、ワンタッチダイヤルが反映されません。

- ①電話帳データ
- ②主装置データ

★お客様が設定や電話帳を変更・追加している可能性がありますので、新規工事以外で設定を変更する場合は、必ず最初に主装置からデータを読み込んでください。



### 5

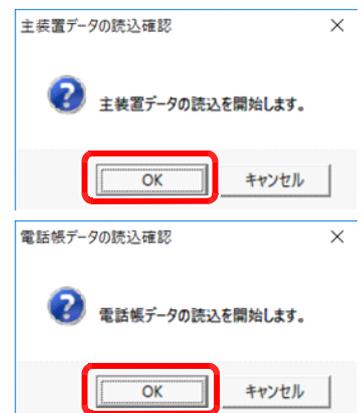
#### 『主装置データの読込確認画面』または『電話帳データの読込確認画面』が表示されるので、**OK** をクリックする

★中断できないので注意してください。

★読み込むデータを良く確認してから操作を行ってください。

※**キャンセル** をクリックすると、『工事者用メニュー画面』に戻ります。

※読み込みを開始すると『データ通信実行中画面』が表示され、進行状況が表示されます。



## 6

読み込みが完了すると『主装置データの読込の終了画面』が表示されるので、**OK** をクリックする。

(「主装置データの読込」を選んだ場合の例)

※「電話帳データの読込」の場合は、『電話帳データの読込の終了画面』が表示されます。

『工事者用メニュー画面』に戻ります。



### ご注意

★読み込み中は、ほかのアプリケーションを使用しないでください。通信エラーが発生することがあります。(特に、「デフラグ(ディスクの最適化)」は絶対に行わないでください。デフラグ中に読み込んだデータを主装置に書き込むと、システムが使用不可となり主装置の初期化が必要です。)

★読み込み中に電話機を使用することもできますが、電話機の使用頻度が高くなると通信エラーが発生することがあります。通信エラーが発生したときには、読み込みをやり直してください。また、電話機側でデータ設定やプログラマブルキーの登録操作など、設定に関係する操作は絶対に行わないでください。

※上記以外の場合でもエラーが発生することがあります。

●エラーが発生したときは…

エラー画面の **OK** をクリックし、手順1からやり直してください。

◆パソコンのスペック不足やメモリの空きが少ないとエラーが発生しやすくなります。ほかのアプリケーションを終了したり、ディスプレイの色数を減らしたりすると改善できる場合があります。

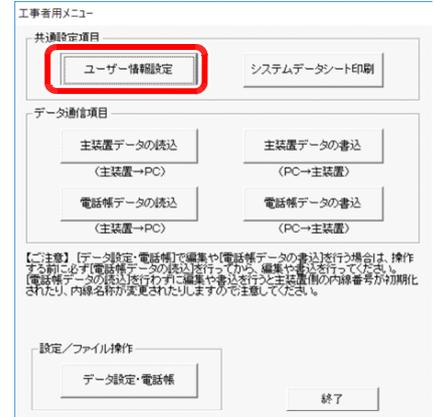
### 3. ユーザー情報設定

お客様の会社名や電話番号などの情報を各設定ファイルや電話帳ファイルに保存することができます。

◆以前に保存したファイルを読み込むと、『ユーザー情報設定画面』に設定した情報が表示されます。

設定は下記の手順で行います。(『工事者用メニュー画面』を表示するまでの手順は、P2-2をご覧ください。)

#### 1 『工事者用メニュー画面』で **ユーザー情報設定** をクリックする



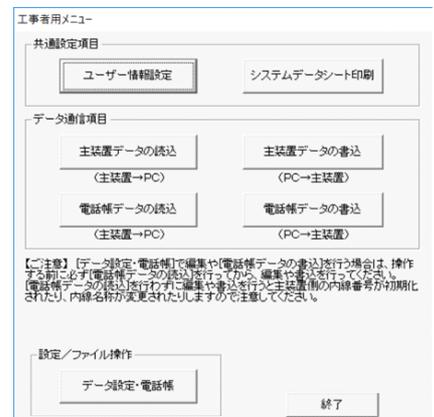
#### 2 必要事項を入力し、**登録** をクリックする

各欄は下記の範囲内で入力してください。  
お客様の名前や電話番号などの情報を入力しておきます。  
(データ設定内容には影響しません。)

- ユーザー名：全角12文字(半角24文字)まで  
お客様の会社名などを入力してください。
- 担当者名：全角12文字(半角24文字)まで  
担当の方の名前を入力してください。
- ユーザー電話番号：半角数字  
お客様の電話番号を入力してください。
- 設置年月日：全角12文字(半角24文字)まで
- 設置メモ：全角36文字(半角72文字)まで  
改行も全角1文字とみなします。



#### 3 『工事者用メニュー画面』に戻る

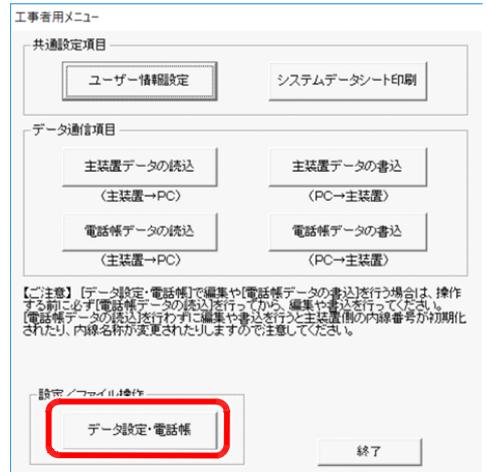


## 4. データ設定

各種設定や電話帳データの変更、ファイルの保存、読み込みができます。

下記の手順で行います。(『工事者用メニュー画面』を表示するまでの手順は、P2-2をご覧ください。)

### 1 『工事者用メニュー画面』で **データ設定・電話帳** をクリックする



### 2 『メニュー選択画面』が表示される

#### ●各ボタンの説明

**ファイルデータ読込** … 保存してある設定ファイルを読み込みます。

**ファイルデータ保存** … パソコン上にある各種設定データなどをファイルに保存します。

**詳細設定** … パソコン上で設定内容を編集します。

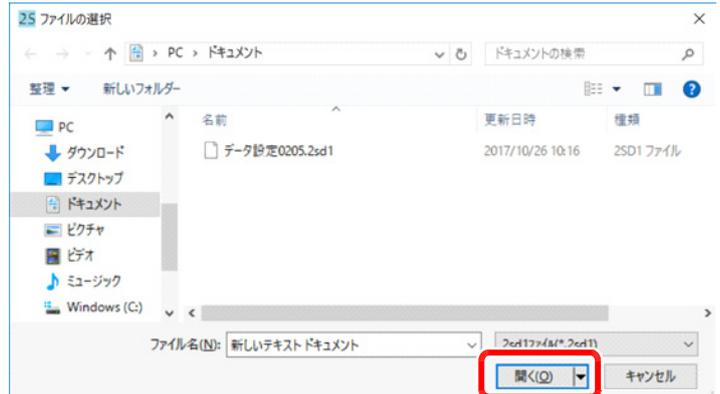
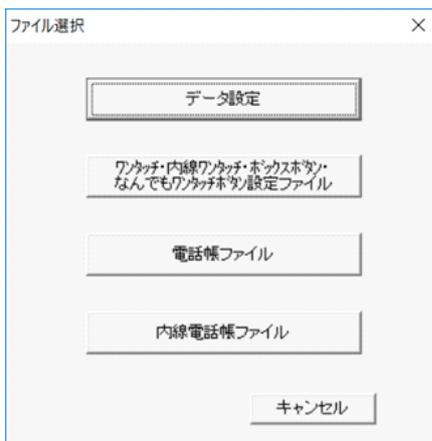
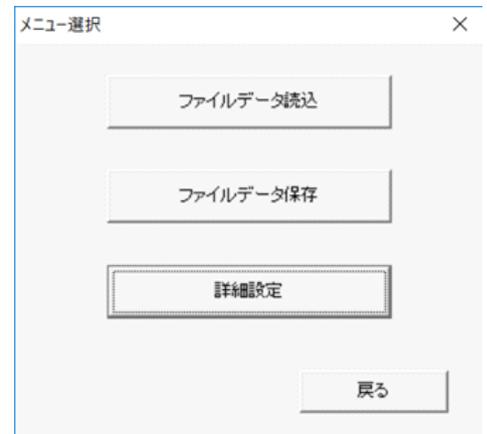
**戻る** … 『工事者用メニュー画面』に戻ります。

★作成済みのファイルを修正するときは、「詳細設定」を行う前に「ファイルデータ読込」を行ってください。

① 『メニュー選択画面』で **ファイルデータ読込** をクリックします。

② 『ファイル選択画面』で読み込むファイルの種類を選択します。

③ 読み込みたいファイルを選択して **開く(O)** をクリックするか、読み込みたいファイルをダブルクリックします。



★「ファイルデータ読込」を行う場合は、下記の順番で各データを読み込んでください。読み込みの順番が正しくないと「ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチボタン・ボックスボタン・なんでもワンタッチボタン」の設定が反映されない場合があります。

- ① データ設定
- ② 電話帳ファイル
- ③ 内線電話帳ファイル
- ④ ワンタッチ・内線ワンタッチ・ボックスボタン・なんでもワンタッチボタン設定ファイル

### 3 『ファイル選択画面』を閉じて、『メニュー選択画面』に戻り **【詳細設定】** をクリックすると、ブラウザが起動し、設定用のWeb画面が表示される

- 各ページを開くと、現在の設定内容(主装置から読み込んだときは主装置の設定内容、ファイルを読み込んだときはファイルに保存していた設定内容)が表示されます。
- 下記に設定用のWeb画面の構成と基本的な操作方法を説明しています。
- 下記の画面は概略の説明用です。表示内容は実際と異なる場合があります。

各コマンド区分ごとに、コマンド番号順に分類されています。

- コマンド区分をクリックすると、ページ一覧およびコマンド番号が表示されます。該当するページをクリックし、各設定を行います。
- 現在表示しているページは色を変えて表示します。

**外線系その他のコマンド**

\*610 **【転送電話の転送先呼出時間】**

転送電話の一回の呼出時間を設定します。(設定単位は10秒毎です。)

転送先呼出時間	<input type="radio"/> 20秒	<input type="radio"/> 30秒	<input type="radio"/> 40秒	<input checked="" type="radio"/> 50秒	<input type="radio"/> 60秒
	<input type="radio"/> 70秒	<input type="radio"/> 80秒	<input type="radio"/> 90秒	<input type="radio"/> 100秒	

\*611 **【転送電話通話時間】**

転送電話の通話成立後、強制切断までの通話時間を設定します。

転送電話通話時間	<input type="radio"/> 10分	<input type="radio"/> 20分	<input checked="" type="radio"/> 30分	<input type="radio"/> 40分	<input type="radio"/> 50分
	<input type="radio"/> 60分	<input type="radio"/> 70分	<input type="radio"/> 80分	<input type="radio"/> 90分	<input type="radio"/> 100分
	<input type="radio"/> 110分	<input type="radio"/> 120分	<input type="radio"/> 130分	<input type="radio"/> 140分	<input type="radio"/> 150分

\*612 **【転送電話の発信外線の種類】**

本ページの先頭に戻るときにクリックします。

登録

PAGE1 (600~609) <<      >> PAGE3 (6141/3)

現在表示しているコマンド区分の前ページに移動するときをクリックします。

現在表示しているコマンド区分の次ページに移動するときをクリックします。

現在表示しているページの設定内容を登録します。

**【注】**設定内容を登録するときには、別のページに移動する前に必ずクリックしてください。クリックを忘れると、変更はすべて無効となります。

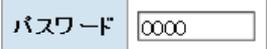
### ご注意

- ★「データ設定アプリ用ポート設定」(\*9403)を「ポートクローズ」(0)に変更してデータを書き込むと、それ以降は主装置データの読み込みや書き込みができなくなりますので、注意してください。
- ★同じ値を重複設定できないデータ設定コマンド(例:\*0030、\*0081、\*0082、\*0084など)に重複設定した場合には、最後に入力したデータが必ずしも有効にはなりません。また、設定範囲外のデータを入力可能な場合があります。**【登録】** をクリックすると更新結果が表示されますので、間違いがないか確認してください。

## 4

## 必要な項目を設定する

- 主装置の「工事・保守マニュアル(2. データ設定マニュアル編)」の各コマンド説明を見ながら設定を行ってください。
- 下記に示す4種類の入力方法(表示のみを含む)があります。

種類	表示例	操作方法
ラジオボタン		設定する項目をクリックします。
リストボックス		プルダウン表示される候補を選択します。 ※ブラウザの拡大率を変更すると文字が正しく表示されない場合があります。拡大率を変えて正しく表示されるようにしてお使いください。
エディットボックス		直接入力します。設定範囲外のデータを入力できる場合がありますが、電話機からのデータ設定と異なりエラー表示はしません。 必ずデータ設定マニュアルをご覧の上、有効な値を入力してください。
表示のみ		モニタのみ可能で入力できません。グレーアウト表示となっています。

- 主装置のシステムデータ設定のほかに、電話帳、内線電話帳、なんでもワンタッチボタン、ワンタッチボタン、内線ワンタッチ(DSS/BLF)ボタン、内線ボックスボタンの設定を行うことができます。詳しい説明は次ページをご覧ください。

### ①電話帳、内線電話帳:

電話帳には電話番号・名前・ヨミガナを、内線電話帳には内線名称・ヨミガナを入力します。一部の記号を電話番号欄に入力できます。詳しくは主装置の取扱説明書の「電話帳を登録する」をご覧ください。

電話帳の用途欄には次の値を入力します。

グループ電話帳の場合： 共通電話帳管理番号「1～7」 システム電話帳の場合： 「8」

マイ電話帳の場合： 電話機の収容位置(3桁)

また、グループ/システム電話帳は、リストボックスで短縮グループ、外線グループも選択します。

★複数の短縮番号に同じ電話番号が入力されている場合、「登録」をクリックすると「短縮番号〇〇〇〇番と△△△△番が重複して登録されています。」というエラー画面が表示されます。エラー画面の「OK」をクリックすると、重複していてもそれらは短縮番号に登録されます。電話番号を重複して登録する必要がないときには、どちらかの短縮番号を削除し再登録してください。

- 用途欄が同一のデータのみ電話番号の重複チェックを行います。
- 3つ以上の短縮番号に同じ電話番号が入力されている場合は、若番側から2つの短縮番号がエラー画面に表示されます。

★電話機で電話帳を登録したときに電話帳の名前に携帯電話マーク(☎)が登録されていると、正常に表示できません。変更を行わずにそのまま登録すると、元の名前のままとすることができます。

★用途欄に正しい値を入力していないと、「登録」をクリックしても入力した内容は登録されません。

### ②なんでもワンタッチボタン:

電話機からの登録と異なり、選択できるボタンの種類が限られています。電話機でのみ登録可能なボタンがすでに登録されている場合は、「新しい登録」欄に「変更不可」が表示されます。「新しい登録」欄にはリストボックスに表示されるボタン(右下の表に示す項目を含む)のみ登録が可能です。

1	現在の登録	登録なし	現在の登録内容を表示します。
	新しい登録	登録なし	
2	現在の登録	登録なし	登録するボタンをプルダウンで表示されるものから選択します。
	新しい登録	登録なし	

ボタン以外の項目	備考
登録なし	操作を登録しません。「登録なし」を登録した箇所以降の操作は無視されます。
変更不可	現在の登録のままとします。

### ③ワンタッチダイヤル、内線ワンタッチ(DSS/BLF)ボタン、内線ボックスボタン:

現在の登録内容が表示されます(プログラマブルキーとして登録してあるボタンを含む)。

リストボックスに表示される機能(下表)を選択し、設定値を入力します。

現在の登録内容を表示します。
KEY01: 外線01 変更なし 01
KEY02: 外線02 変更なし 02
KEY03: 機能なし 変更なし 00

登録するボタンの種類をプルダウンで表示されるものから選択します。	各ボタンに登録する設定値を入力します。
----------------------------------	---------------------

機能選択	設定値	備考
変更なし	—	現在の登録内容のままとするとときに選択します。
クリア	—	現在の登録を消去します。 プログラマブルキーが登録されているときも消去されますので、注意してください。
ワンタッチ	短縮番号(4桁)	ワンタッチダイヤルボタンを登録します。 電話帳に電話番号が登録されていない短縮番号を入力した場合、「登録」をクリックしても入力が反映されません。
内線ワンタッチ	電話機収容位置(3桁)	内線ワンタッチダイヤルボタンを登録します。 電話機からの登録と異なり、設定値は「内線番号」でなく「収容位置」を入力します。
ボックス	電話機収容位置(3桁)	内線ボックスボタンを登録します。 電話機からの登録と異なり、設定値は「内線番号」でなく「収容位置」を入力します。

※1. 短縮ダイヤル発信時に入力する短縮ダイヤル番号の桁数を1～3桁に変更することもできますが、ワンタッチダイヤルボタンは電話帳に登録した4桁の短縮番号を登録します。

※2. 「内線ワンタッチボタン」は、内線番号のみサポートしています。

「内線一斉呼出」や「外部スピーカ呼出」などの特番を「内線ワンタッチボタン」に登録する場合は、電話機から行ってください。

5

表示しているページ内の設定が完了したら画面一番下の **登録** をクリックする

- システム・保守系コマンド
- 外線発信系コマンド
- ISDNに関するコマンド
- 外線着信系コマンド
- 外線保留・転送系コマンド
- 外線系その他のコマンド
- 内線系コマンド
- 電話機に関するコマンド
- ボイスメモに関するコマンド
- 外部機器に関するコマンド
  - PAGE1(9200~9209)
  - PAGE2(9210~9212)
  - PAGE3(9222~9228)
  - PAGE4(9242,9245)
  - PAGE5(9250~9253)
  - PAGE6(9260~9269)
  - PAGE7(9270~9274)
- 課金に関するコマンド
- IPIに関するコマンド
- 電話帳
- 内線電話帳
- なんでもワンタッチボタン
- ワンタッチ・内線ワンタッチ・ボックスボタン
- コマンド直接入力

### 外部機器に関するコマンド

#### \*9222 【外部スピーカ呼出の冒頭音送出までの時間】

外部スピーカ呼出時に冒頭音を送出する場合、冒頭音送出までの時間を設定します。

冒頭音送出までの時間  1秒  2秒  3秒  4秒  5秒  6秒  7秒

#### \*9223 【外部スピーカ呼出の冒頭音/終了音選択】

外部スピーカ呼出時の冒頭音(呼出直前に入る音)と終了音(呼出終了直後に入る音)を設定します。

冒頭音	<input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> 500Hz断続音	<input type="radio"/> 1kHz断続音	<input type="radio"/> 500Hz連続音	<input type="radio"/> 1kHz連続音
	<input checked="" type="radio"/> ビンボンバンボン上り(EXU)	<input type="radio"/> ビンボンバンボン下り(EXU)			
終了音	<input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> 500Hz断続音	<input type="radio"/> 1kHz断続音	<input type="radio"/> 500Hz連続音	<input type="radio"/> 1kHz連続音
	<input type="radio"/> ビンボンバンボン上り(EXU)	<input checked="" type="radio"/> ビンボンバンボン下り(EXU)			

#### \*9224 【外部スピーカ、高音量ベルの鳴動対象電話機収容位置】

▲ ページTOP

PAGE2(9210~9212) <<

登録

>> PAGE4(9242,9245)

現在表示しているページの設定内容を登録します。

【注】設定内容を登録するときは、別のページに移動する前に必ずクリックしてください。  
クリックをしないと、変更した内容は登録されません。

6

すべての設定が終了したらブラウザを終了する  
※ブラウザを閉じてても設定内容は、消えません。

7

『メニュー選択画面』が表示されるので、**ファイルデータ保存** をクリックする

メニュー選択 ×

ファイルデータ続込

ファイルデータ保存

詳細設定

戻る

8

『ファイル選択画面』が表示されるので、保存したいファイルの種類を選択し、クリックする

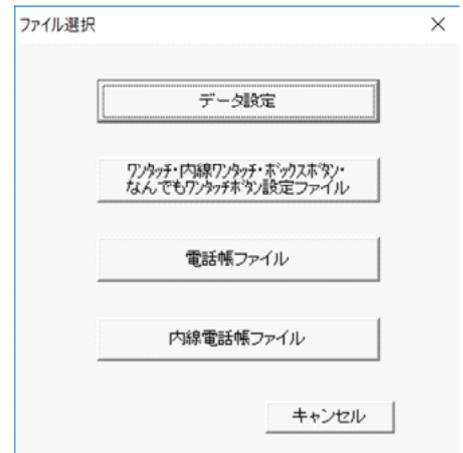
### ●各ボタンの説明

**データ設定** … Web画面で設定したデータ設定内容をファイルに保存します。

**ワンタッチ・内線ワンタッチ・ボックスボタン・なんでもワンタッチボタン設定ファイル** … Web画面で設定したワンタッチ・内線ワンタッチ・ボックスボタン・なんでもワンタッチボタンの設定内容をファイルに保存します。

**電話帳ファイル** … Web画面で設定した電話帳の設定内容をファイルに保存します。

**内線電話帳ファイル** … Web画面で設定した内線電話帳の設定内容をファイルに保存します。



9

ファイル名を入力して **保存(S)** をクリックする

現在設定中のデータ設定内容がファイルに保存されます。

※お客様ごとにファイルやフォルダを作ると管理しやすくなります。

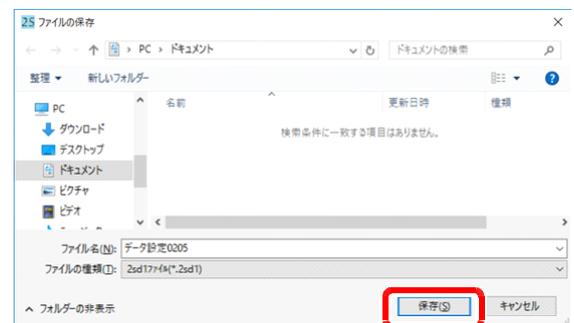
※ファイルの拡張子は、以下のようになります。

データ設定 : 2sd1

ワンタッチダイヤルボタンなど : 2sd2

電話帳 : ifd3

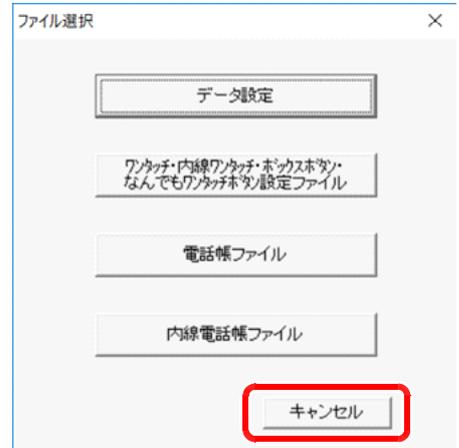
内線電話帳 : ifd4



10

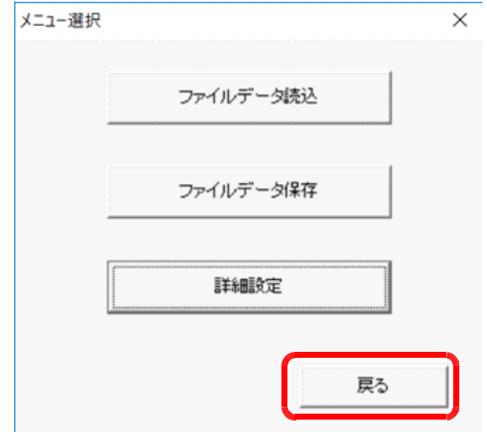
『ファイル選択画面』に戻るので、**キャンセル** をクリックする

保存したいファイルがほかにあるときは手順8と9を繰り返してファイルを保存してください。



11

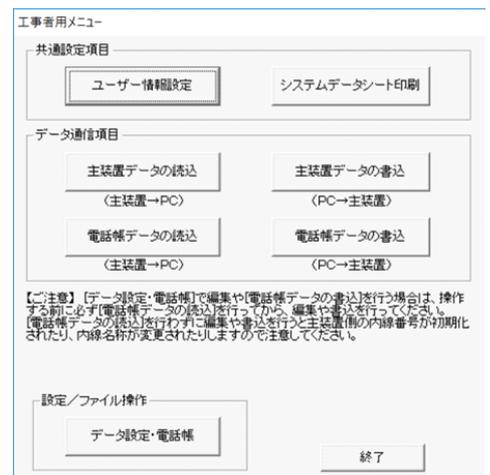
『メニュー選択画面』が表示されるので、**戻る** をクリックする



12

『工事者用メニュー画面』に戻る

- 設定したデータを主装置に書き込む場合は…  
P2-21をご覧ください。
- 設定したデータを印刷する場合は…  
P2-17をご覧ください。



## ●Excel®を使用して電話帳データを作成、編集する

Excel® を使用して電話帳、内線電話帳データを作成したり、編集したりする場合は、CSV形式のファイルを使用します。

### (1)Excel®で電話帳ファイルを作成する

Excel® を使用して電話帳データを作成し、CSV形式で保存すると、本プログラムでそのファイルを読み込むことができます。 ※Excel® の使用方法はExcel® の説明書をご覧ください。  
下記の手順に従って作成してください。

- ①下記に示すフォーマットで電話番号一覧を作成する。  
(すべてのセルの書式を「文字列」に設定してから作成してください。)

必ず0000を入力 →

	A	B	C	D	E	F	G
1	短縮番号	電話番号	名前	ヨミガナ	用途	短縮G	外線G
2	0000	031234XXXX	東京本社	トウキョウホンシャ	1	1	1
3	0001	061234XXXX	大阪支社	オオサカシヤ	1	1	2
4	0002	052123XXXX	名古屋支店	ナゴヤシテン	1	1	2
5	0003	090111XXXX	鈴木携帯	スズキケイタイ	101	2	3
6	0004	090222XXXX	斉藤携帯	サイトウケイタイ	102	2	3
7	0005	090333XXXX	佐藤携帯	サトウケイタイ	101	2	3
8	0006	045123XXXX	青×商事	アオシヨウジ	1	4	1
9	0007	045123XXXX	佐々木	ササキ	1	4	1
10	0008	090444XXXX	中島携帯	ナカジマケイタイ	1	4	3

- 1行目: 「短縮番号」、「電話番号」、「名前」、「ヨミガナ」、「用途」、「短縮G」、「外線G」と言う文字列(すべて全角)を上記の順番どおりに入力します。
- 短縮番号: 0000から始まる連番(4桁)を半角数字で入力します。  
短縮番号は必要なものだけを入力してください(すべての番号を入力する必要はありません)。先頭の0000は必ず入力してください。
- 電話番号: 電話番号を入力します。半角数字24文字まで。
- 名前: 相手の名前をスペースは入れずに入力します。全角10文字(半角20文字)まで。
- ヨミガナ: 電話帳検索で使用するカナ名称をスペースは入れずに入力します。半角20文字まで。
- 用途: グループ電話帳の場合は共通電話帳管理番号「1~7」を、システム電話帳の場合は「8」を、マイ電話帳の場合は電話機の収容位置(3桁)を半角数字で入力します。
- 短縮グループ番号: 短縮グループ番号(グループ電話帳:01~15、システム電話帳:16~30)を半角数字で入力します。
- 外線グループ番号: 0(指定なし)および外線グループ番号1~6を半角数字で入力します。
- ★名前・ヨミガナに半角の「”」、「¥」、「<」、「>」は使用しないでください。
- ★入力文字にカンマ「,」は使用しないでください。また、指定されているセルは必ず入力し、上記以外のセルにはデータを入力しないでください(住所データなど)。
- ★指定以外のフォーマットで作成した場合や、上記の入力条件に従わずに作成したファイルは利用できません。すでに作成済みの電話番号一覧がある場合は、指定のフォーマットに編集し直してください。
- ★各項目の入力データが指定文字数を超過している場合、超過している部分は本プログラムで取得することはできませんので注意してください。
- ★用途欄に「1~7」、「8」、収容位置(3桁)以外の値が入力されていると、ファイルデータの読み込みの際に、自動的に「1」(グループ電話帳)に変更します。
- ★マイ電話帳では短縮グループ番号と外線グループ番号は使用しません。

### ②作成が終わったら、CSV形式で保存する。

※CSV形式のほか、Excel® の通常の形式でもファイルを保存しておくことをおすすめします。

CSV形式のファイルをExcel® に読み込んだ場合、電話番号欄の先頭の「0」が削除されますので、別途編集作業を行う場合は通常の形式で保存したファイルを利用した方が便利です。

### ③本プログラムの「ファイルデータ読込」-「電話帳ファイル」で、②で保存したCSV形式ファイルを読み込んでください。

※CSV形式のファイルを読み込んだ後に、詳細画面で正常にデータが表示されていることを確認してください。(電話番号欄の先頭に「0」が入っていることを確認してください。)

## (2)Excel®で内線電話帳ファイルを作成する

Excel®を使用して内線電話帳データを作成し、CSV形式で保存すると、本プログラムでそのファイルを読み込むことができます。

※Excel®の使用方法につきましてはExcel®の説明書をご覧ください。

下記の手順に従って作成してください。

### ①下記に示すフォーマットで内線番号一覧を作成する。

(すべてのセルの書式を「文字列」に設定してから作成してください。)

必ず101を入力 →

	A	B	C	D
1	収容位置	内線番号	内線名称	ヨミガナ
2	101	101	高橋	タカハシ
3	102	102	佐藤	サトウ
4	103	103	青木	アオキ
5	104	104	田中	タナカ
6	105	105	庄司	ショウジ
7	106	106	木村	キムラ
8	107	107	伊藤	イトウ

●1行目: 「収容位置」、「内線番号」、「内線名称」、「ヨミガナ」という文字列(すべて全角)を上記の順番通りに入力します。

●収容位置: 101から始まる連番(3桁)を半角数字で入力します。

収容位置は必要なものだけ入力してください。(すべての番号を入力する必要はありません)。先頭の101は必ず入力してください。

●内線番号: 内線番号を入力します。半角数字1~4桁(入力桁数は\*0080の設定に従ってください)。

●内線名称: 内線名称をスペースは入れずに入力します。全角5文字(半角10文字)まで。

●ヨミガナ: 電話帳検索で使用するカナ名称をスペースは入れずに入力します。半角10文字まで。

★内線名称・ヨミガナに半角の「/」、「¥」、「<」、「>」は使用しないでください。

★入力文字にカンマ「,」は使用しないでください。また、指定されているセルは必ず入力し、上記以外のセルにはデータを入力しないでください。

★指定以外のフォーマットで作成した場合や、上記の入力条件に従わずに作成したファイルは利用できません。すでに作成済みの内線番号一覧がある場合は、指定のフォーマットに編集し直してください。

★各項目の入力データが指定文字数を超過している場合、超過している部分は本プログラムで取得することはできませんので注意してください。

★内線番号の項目について\*0080の設定と異なる桁数の内線番号を入力している場合、内線番号を本プログラムで取得することはできませんので注意してください。また、同じ内線番号を複数入力しないでください。

### ②作成が終わったら、CSV形式で保存する。

※CSV形式のほか、Excel®の通常の形式でもファイルに保存しておくことをおすすめします。

CSV形式のファイルをExcel®に読み込んだ場合、電話番号欄の先頭の「0」が削除されますので、別途編集作業を行う場合は通常の形式で保存したファイルを利用した方が便利です。

### ③本プログラムの「ファイルデータ読込」-「内線電話帳ファイル」で、②で保存したCSV形式ファイルを読み込んでください。

※CSV形式のファイルを読み込んだ後に、詳細画面で正常にデータが表示されていることを確認してください。

### (3) 本プログラムで保存したCSV形式のファイルを編集する

本プログラムで作成した電話帳、内線電話帳データは、CSV形式でファイルを保存できます。後からExcel<sup>®</sup> を使用してこれらのデータを編集することができます。

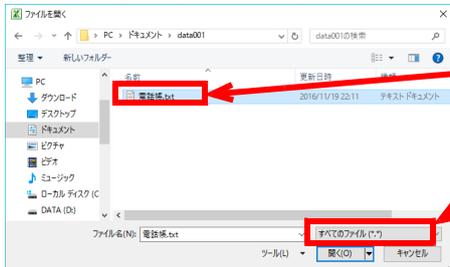
Excel<sup>®</sup> でCSVファイルを開いたり、エクスプローラでCSV形式のファイルをダブルクリックして開くと、電話番号欄の先頭の「0」が削除されてしまい、編集が出来なくなります。

下記の操作で拡張子の変更を行ってください。

#### ①エクスプローラなどで、読み込みたいCSVファイルの拡張子を「txt」に変更する。

(例:「0×商事電話帳.csv」を名前の変更で、「0×商事.txt」に変更する。)

#### ②Excel<sup>®</sup> を起動し、①で作成したファイルを開く。(必ず、Excel<sup>®</sup> の操作でファイルを開いてください。)

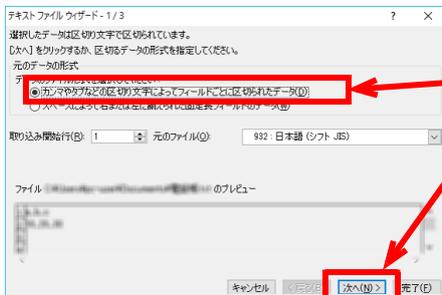


操作2: ①で作成したtxtファイルを選択し、ダブルクリックまたは「開く」を押す

操作1: すべてのファイル(\*.\*)に変更する

#### ③画面の指示に従って、操作する。

●元のデータの形式: 「カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ」を選択します。



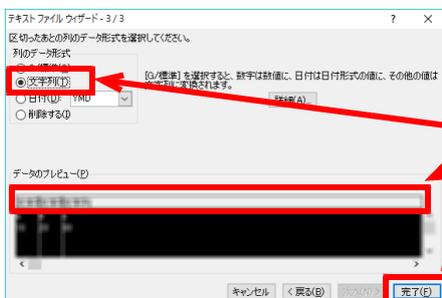
「カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ(D)」を選択し、「次へ(N)」をクリックする

●区切り文字: 「カンマ」を選択します。



「カンマ(C)」にのみチェックを入れて、「次へ(N)」をクリックする

●列のデータ形式: すべてのデータ項目を「文字列」にします。



すべての列を文字列に変更し、「完了(F)」をクリックする

#### ④ **完了(F)** をクリックし、ファイルが開いたら(1)または(2)に従って編集作業を行う。

★編集を行う前に、1行目(12桁の数字が記載されている行)は必ず削除してください。(1)または(2)で示したフォーマットのみ本プログラムで読み込むことができます。

#### (4) 2Fの電話帳データを2Sの電話帳データに変換する方法

2Fのパソコンデータ設定用プログラムの電話帳データと本プログラムの電話帳データはフォーマット形式が異なります。2Fから2Sの主装置に交換するときは、お使いの電話帳データを2Sの主装置に移す必要があります。下記の手順で電話帳データを変換して移してください。

##### 電話帳データの変換手順

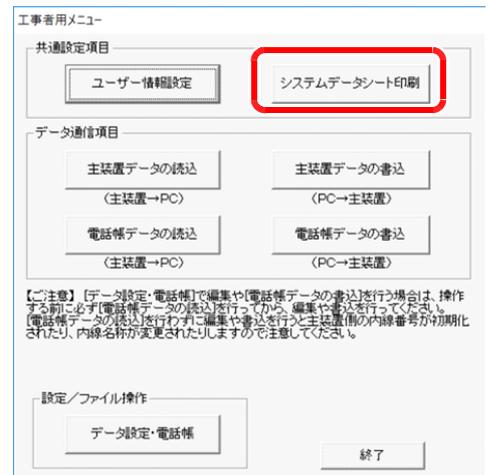
- ①2Fのパソコンデータ設定用プログラムを使用し、2F主装置の電話帳データをパソコンに読み込む。
- ②2Fのパソコンデータ設定用プログラムで電話帳ファイルをCSV形式で保存する。  
(ファイルの種類を「CSVファイル(\*.csv)」を選択して保存)  
※保存したCSV形式の電話帳ファイルは、バックアップしておくことをおすすめします。
- ③エクスプローラなどで、②で保存したCSVファイルの拡張子を「txt」に変更する。  
(例:「〇×商事電話帳.csv」を名前の変更で、「〇×商事.txt」に変更する。)
- ④③で作成した(拡張子を「txt」に変更した)ファイルをExcel<sup>®</sup>で開く。(必ず、Excel<sup>®</sup>の操作でファイルを開いてください。)  
詳しくは、「(3)本プログラムで保存したCSV形式のファイルを編集する」をご覧ください。
- ⑤Excel<sup>®</sup>を使用し、2S用のフォーマット形式に修正する。  
詳しくは、「(1)Excel<sup>®</sup>で電話帳ファイルを作成する」をご覧ください。
- ⑥Excel<sup>®</sup>を使用し、⑤で修正した電話帳データをCSV形式で保存する。
- ⑦本プログラムを使用し、保存したCSV形式ファイルを読み込む。

## 5. システムデータシートの印刷

データ設定や電話帳などの設定内容を印刷できます。

下記の手順で行います。(『工事者用メニュー画面』を表示するまでの手順は、P2-2をご覧ください。)

### 1 『工事者用メニュー画面』で **システムデータシート印刷** をクリックする



### 2 『システムデータシート印刷選択画面』が表示されるので、印刷したい内容のボタンをクリックする

#### ●各ボタンの説明

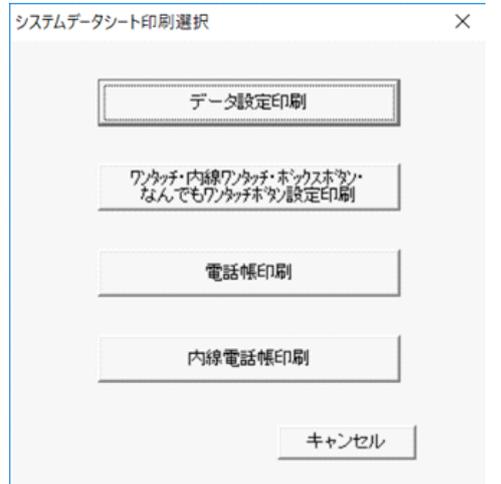
**データ設定印刷** … データ設定内容を印刷します。

**ワンタッチ・内線ワンタッチ・ボックスボタン・なんでもワンタッチボタン設定印刷** … ワンタッチダイヤルボタンなどの登録内容を印刷します。  
(ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックスボタンの登録内容の後に、なんでもワンタッチボタンの登録内容を印刷します。)

**電話帳印刷** … 電話帳データを印刷します。

**内線電話帳印刷** … 内線電話帳データを印刷します。

**キャンセル** … 『工事者用メニュー画面』に戻ります。



### 3 『印刷種別選択画面』が表示される

#### ●各ボタンの説明

**プレビュー表示** … 印刷プレビューを表示してから印刷することができます。また、ページを指定して印刷することもできます。(⇒P2-18)

※プリンタの指定はできません。「通常使うプリンタ」に設定されているプリンタで印刷します。

※印刷部数は指定できません。印刷部数は1部のみです。

※2ページ分が横並びで印刷されます。

**ダイアログ表示** … プリンタや印刷方法、印刷部数を指定してから印刷することができます。(⇒P2-19)

※ページを指定して印刷することはできません。全ページを印刷します。

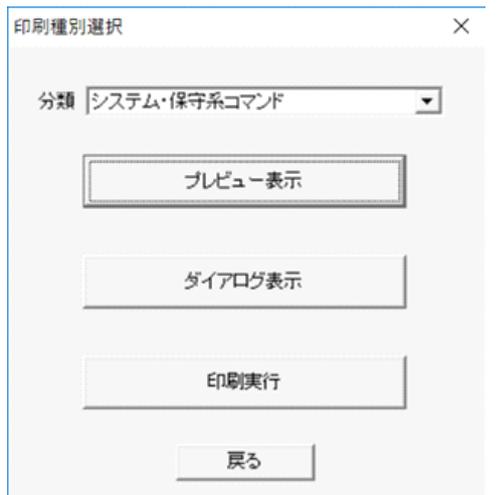
**印刷実行** … 印刷を実行します。

※プリンタの指定はできません。「通常使うプリンタ」に設定されているプリンタで印刷します。

※ページを指定して印刷することはできません。全ページを印刷します。

※2ページ分が横並びで印刷されます。

**戻る** … 『システムデータシート印刷選択画面』に戻ります。



※これ以降のページでは、**プレビュー表示** を選択した場合と **ダイアログ表示** を選択した場合について説明します。  
(**印刷実行** を選択した場合の説明は省略します。)

## ■ プレビュー表示 を選択した場合

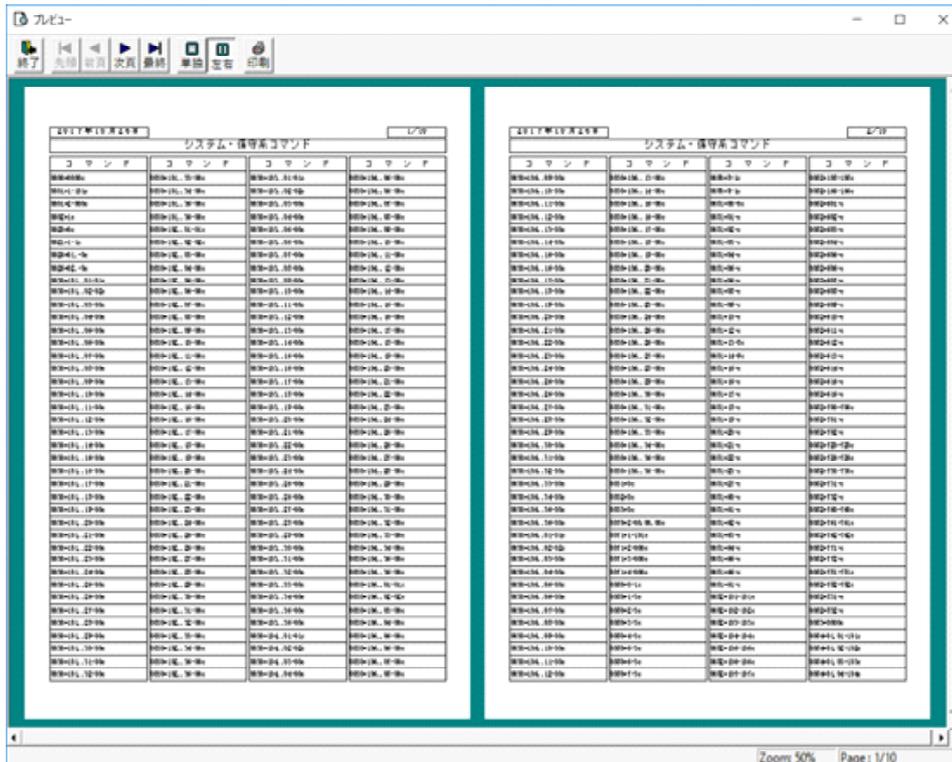
4

『印刷種別選択画面』で **プレビュー表示** をクリックすると、『プレビュー画面』が表示される

※プレビュー画面上で左クリックすると拡大、右クリックすると縮小することができます。

(下の画面は、左右に2ページ表示した例を示しています。)

※各ボタンの操作ができるまで、しばらく時間がかかります。



### ●各ボタンの説明



… プレビューを終了します。



… 1ページごとに表示します。



… 左右に2ページ表示を行います。



… 印刷を行います。(『印刷画面』を表示)



… 先頭のページを表示します。



… 前ページを表示します。



… 次ページを表示します。



… 最終のページを表示します。

5

『プレビュー画面』の **印刷** をクリックすると、『印刷画面』が表示されるので、印刷方法を選択し **印刷(P)** をクリックする

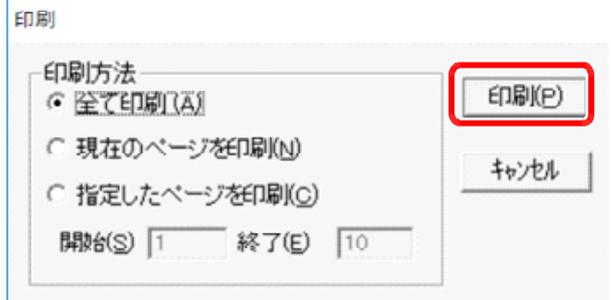
中止するときは、**キャンセル** をクリックしてください。

★「現在のページを印刷(N)」を選択した場合、プレビュー画面で2ページ表示をしても、左側に表示しているページを印刷します。

『印刷中画面』が表示されます。

途中で印刷を中止するときは、**印刷中止(C)** をクリックしてください。

印刷が終了したら、『プレビュー画面』の **終了** をクリックすると、『印刷種別選択画面』に戻ります。



## ■ **ダイアログ表示** を選択した場合

4

『印刷種別選択画面』で **ダイアログ表示** をクリックすると、『プリンタ選択画面』が表示される

注: 画面表示は一例です。お使いのプリンタによって異なります。

### ●各フィールドの説明

- **プリンタ(P)**… 印刷に使うプリンタを選択します。(複数のプリンタが使用可能なとき)
- **部数(N)**… 印刷部数を指定します。
- **出力用紙指定(O)**… 出力方法を変更するときに使用します。チェックを入れると **プロパティ(S)** が有効になり、プリンタのプロパティが設定可能になります。  
※プリンタのプロパティでマルチ印刷(2ページ分の割り付けなど)を行う場合も、本画面で印刷方向や縮小拡大(用紙フィット)の設定などが必要になります。どのように印刷されるか、ページ数の少ない「内線電話帳印刷」で事前に試してください。
- **給紙(B)**… プリンタの給紙方法を選択します。
- **マルチ印刷(M)**… 「出力用紙指定(O)」にチェックを入れたときに有効です。通常は1枚に1ページ分を印刷しますが、マルチ印刷を指定すると、1枚に2ページ分を印刷します。

### <参考>

マルチ印刷で1枚に2ページ分を印刷するときは、下記の設定をしてください。

- 「**出力用紙指定(O)**」を**チェック**
- **マルチ印刷(M)**: 「**横方向(O)**」
- **印刷方向**: 「**横印刷(D)**」
- **縮小拡大**: 「**ON(E)**」
- **位置合わせ**: 「**左上(G)**」
- 「**用紙フィット(J)**」を**指定**

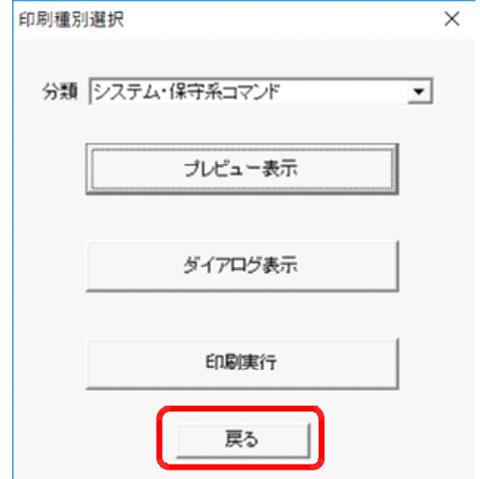
5

『プリンタ選択画面』で **OK** をクリックすると印刷が開始され、『印刷中画面』が表示される

途中で印刷を中止するときは、**印刷中止(C)** をクリックしてください。

印刷が終了すると『印刷種別選択画面』に戻ります。

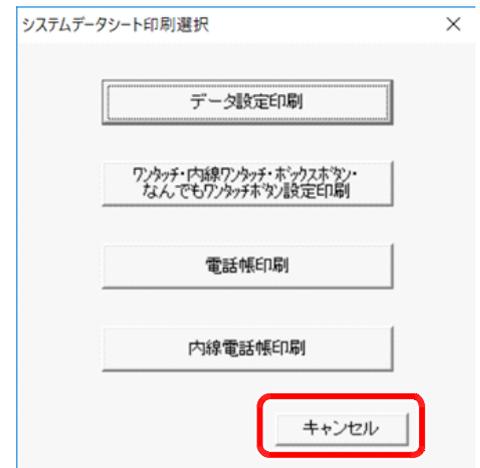
6

『印刷種別選択画面』で **戻る** をクリックする

7

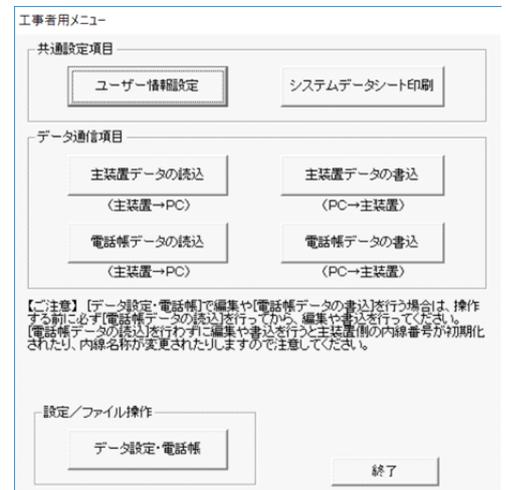
『システムデータシート印刷選択画面』に戻るので、**キャンセル** をクリックする

ほかに印刷したい内容があるときは、該当するボタンをクリックし手順3から繰り返します。



8

『工事者用メニュー画面』に戻る



## 6. 主装置データ／電話帳データの書き込み～プログラムの終了

パソコンで編集したり保存したりしている各種設定データ(データ設定や電話帳関連データなど)を主装置に書き込みます。

※各データ設定、電話帳データはそれぞれ個別に書き込みます。

下記の手順で行います。(『工事者用メニュー画面』を表示するまでの手順は、P2-2をご覧ください。)

### 1 『工事者用メニュー画面』で、下記のいずれかのボタンをクリックする

**主装置データの書込** … データ設定内容を主装置側に書き込みます。

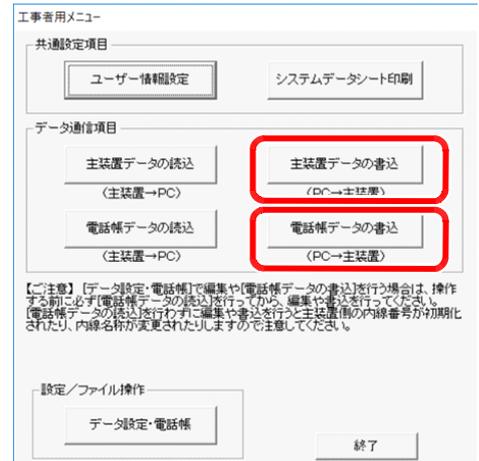
**電話帳データの書込** … 電話帳および内線電話帳のデータを主装置側に書き込みます。

★データ設定内容にワンタッチダイヤルが設定されている場合は、下記の順番で書き込んでください。書き込みの順番が正しくないと、ワンタッチダイヤルの設定が正しく反映されません。

- ①電話帳データ
- ②主装置データ

★お客様が設定や電話帳を変更・追加している可能性があります。新規工事以外で設定を変更する場合は、必ず最初に主装置からデータを読み込んでください。

- ①主装置からデータを読み込む(必要なもの) ⇒P2-2
- ②「ファイルデータ読込」は行わずに読み込んだデータを修正する。⇒P2-6  
※ファイルを読み込むと、①で読み込んだデータが置き換えられます。
- ③主装置にデータを書き込む(必要なもの)



【ご注意】【データ設定・電話帳】で編集や【電話帳データの書込】を行う場合は、操作する前に必ず【電話帳データの読込】を行ってから、編集や書込を行ってください。【電話帳データの読込】を行わずに編集や書込を行うと主装置側の内線番号が初期化されたり、内線名称が変更されたりしますので注意してください。

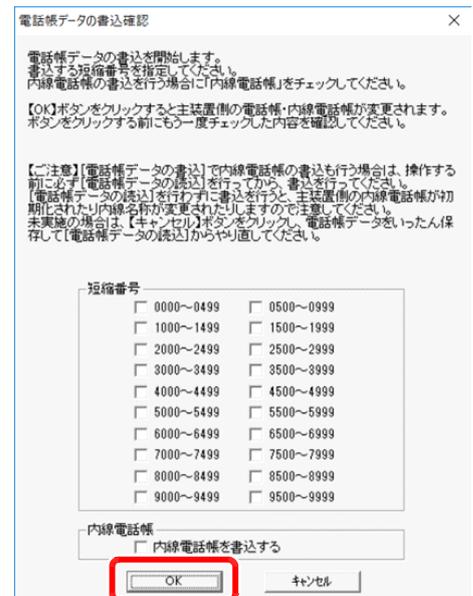
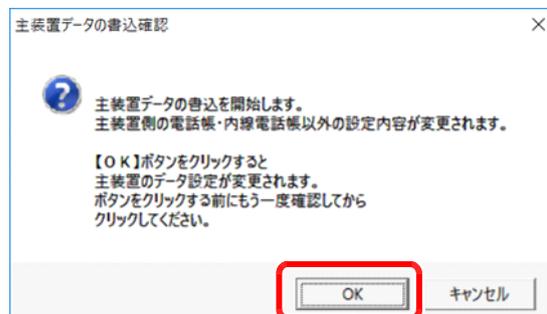
### 2 『書込確認画面』が表示されるので、**OK** をクリックする

手順1で「電話帳データの書込」を選んだ場合は、書き込みたい短縮番号や内線電話帳のチェックボックスにチェックを入れてから、**OK** をクリックします。

★書き込むデータを良く確認してから操作してください。

★**OK** クリック後は、書き込みを中断できないので注意してください。

※ **キャンセル** をクリックすると、『工事者用メニュー画面』に戻ります。



3

『ファイル作成中画面』が表示される(「主装置データの書込」の場合のみ)

※ファイル作成の進行状況が表示されます。

ファイル作成中

データ通信ファイルを作成中です。

77 %

ファイル作成が完了すると、『データ通信実行中画面』が表示される(右図は「主装置データの書込」を選んだ場合の例)

※進行状況が表示されます。

データ通信実行中

主装置データの書込実行中です。

20 %

4

書き込みが完了すると『主装置データの書込の終了画面』が表示されるので、**OK** をクリックする(「主装置データの書込」の例)

『工事者用メニュー画面』に戻ります。

※「電話帳データの書込」の場合は、『電話帳データの書込の終了画面』が表示されます。

主装置データの書込の終了



主装置データの書込が正常に終了しました。

OK

### ご注意

★書き込み中は、ほかのアプリケーションを使用しないでください。通信エラーが発生することがあります。(特に、「デフラグ(ディスクの最適化)」は絶対に行わないでください。デフラグ中に書き込みすると、システムが使用不可となり主装置の初期化が必要です。)

★書き込み中に電話機を使用することもできますが、電話機の使用頻度が高くなると通信エラーが発生することがあります。通信エラーが発生したときには、書き込みをやり直してください。また、電話機側でデータ設定やプログラマブルキーの登録操作など、設定に関係する操作は絶対に行わないでください。

※上記以外の場合でもエラーが発生することがあります。

●エラーが発生したときは…

エラー画面の **OK** をクリックし、手順1からやり直してください。必ず、書き込みを最後まで完了させてください。途中で中止した場合、主装置側のデータが不完全のままとなり、正常に動作しなくなります。

◆パソコンのスペック不足やメモリの空きが少ないとエラーが発生しやすくなります。ほかのアプリケーションを終了したり、ディスプレイの色数を減らしたりすると改善できる場合があります。

★電話機で電話帳を使用しているときに、本プログラムで電話帳データを書き込んだ場合、電話機で表示している番号とは異なる番号に発信したり、発信そのものがないことがあります。電話帳データを書き込む場合は、なるべく電話機で電話帳を操作していないときに行ってください。

電話機で内線電話帳を使用しているときも同様です。内線発信後に表示される内線名称が内線電話帳の検索時と異なった表示となる場合があります。

★次のデータ設定コマンドは同じデータを重複して設定できません。

「簡易IVRのサービス登録」(\*9183) 「マルチ呼び対象電話機と対象DILIN番号設定」(\*769)

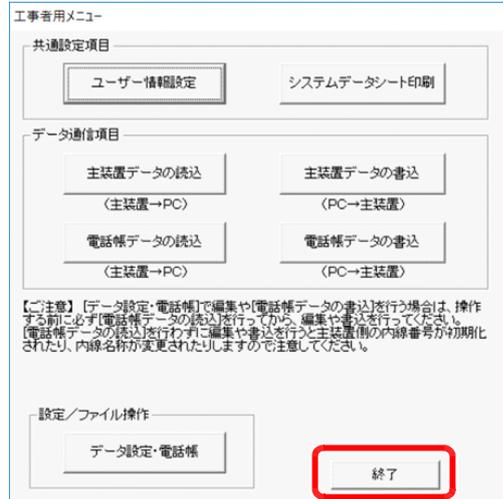
すでに主装置側が設定されている場合は、本プログラムから書き込んだときに一部またはすべてのデータが設定されないことがあります。主装置側でこれらの設定をすべてクリアしてから、本プログラムで書き込んでください。

※本プログラムでこれらの設定をすべてクリアしたものを書き込むと、主装置側の設定をすべてクリアすることができます。

★夜間切替タイマが動作すると、夜間切替タイマで設定した留守番モードに関するデータ設定(\*601、\*9104、\*9100、\*9109)が変更されます。本プログラムで書き込み上記のデータ設定が主装置側と異なる場合は、書き込んだデータ設定に従って留守番モードが切り替わります。

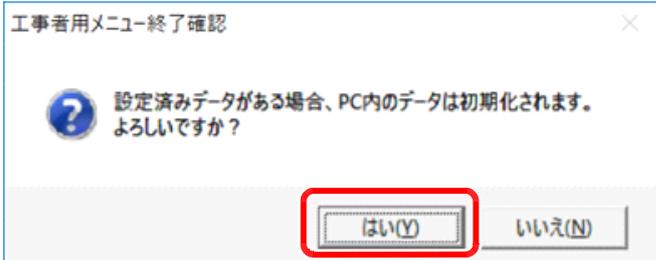
書き込み終了後に主装置の電源をOFF/ONすると、夜間切替タイマで動作する留守番モードを元の状態に戻すことができますが、それが困難な場合は、お客様に留守番モードが変更される場合があることを説明したうえで書き込んでください。

5 『工事者用メニュー画面』に戻るので、作業がすべて終了の場合は **終了** をクリックする

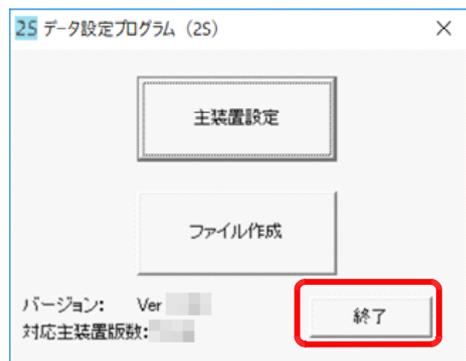


6 『工事者用メニュー終了確認画面』で **はい(Y)** をクリックする

※ **いいえ(N)** をクリックすると『工事者用メニュー画面』に戻ります。



7 『メイン画面』が表示されるので、 **終了** をクリックする



8 『終了確認画面』で **はい(Y)** をクリックする

※ **いいえ(N)** をクリックすると『メイン画面』に戻ります。



### ご注意

★プログラマブルキーの設定(プログラマブルキーの一括設定、ボイスメモ再生ボタンの自動割り付けを含む)、ストレートラインDIの設定など、ボタンの割り付けが変更になる設定を行った場合は、表示がおかしくなることがあります。故障ではありません。システムを再起動してください。

システムの再起動は下記の手順で行ってください。

- ①主装置の電源スイッチをOFFにする。 ⇒ ②約10秒経過後に電源スイッチをONにする。

## 7. 主装置交換時のデータ移行方法

主装置を交換するとき(故障した場合など)は、以下の手順で設定データを移行してください。

- ①故障した主装置にパソコンを接続し、本プログラムで主装置のデータを読み込む。(⇒P2-2)  
★読み込んだデータをそのまま新しい主装置に読み込みますので、「メイン画面」には戻さないでください。また、必要に応じてファイルに保存しておいてください。
- ②メニュー機能のみで設定可能なデータ(内線名称など)、パソコンからは設定できないデータ(「工事・保守マニュアル(2. データ設定マニュアル編)」の「コマンド説明」のコマンド欄に **PC不可** が記載されているコマンド)を紙などに記録する。
- ③新しい主装置のメモリバックアップ用スイッチをONにし、主装置の電源を入れる。
- ④新しい主装置にパソコンを接続する。(⇒P1-2)
- ⑤本プログラムの『工事者メニュー画面』(P2-3)まで戻る。  
★読み込んだデータをそのまま新しい主装置に書き込みますので、「メイン画面」には戻さないでください。
- ⑥新しい主装置に①で読み込んだデータを書き込む。(⇒P2-21)
- ⑦新しい主装置に②で記録したデータの設定を行う。⇒主装置の「工事・保守マニュアル(2. データ設定マニュアル編)」をご覧ください。

### ご注意

★故障した主装置の電源が立ち上がらない場合は、データを読み込むことができませんので、設置工事が完了したら必ず下記データのファイルを保存しておいてください。

- (1) データ設定
- (2) ワンタッチ・内線ワンタッチ・ボックスボタン・なんでもワンタッチボタン設定ファイル
- (3) 電話帳ファイル
- (4) 内線電話帳ファイル

下記のデータは本プログラムで保存できませんので、紙などに記録してください。

- (1) 「工事・保守マニュアル(2. データ設定マニュアル編)」の「コマンド説明」のコマンド欄に **PC不可** が記載されているコマンド